

はたらく女性の異業種交流会（伊那会場） 開催結果概要

1 開催趣旨

県内企業等で働く女性や女性リーダーが、自分らしい職業生活を実現する上での悩みや課題、提案等について、異なる業種や役職間においても自由に意見交換するとともに、働く女性は、ロールモデルを学び、女性リーダーは、マネジメントや次世代リーダーの育成等に向けたヒントを得ることで、組織における働きやすい環境づくりに向けた気運を醸成する。

2 日時

令和7年8月25日（月） 10：30～15：30

3 場所

いなっせ ホール（伊那市）

4 参加者

県内の企業や自治体等に勤務する女性 44名（働く女性29名、女性リーダー15名）

5 内容【ファシリテーター イーキュア（株）登内氏、羽生氏】

① 個人ワーク

テーマ：自分らしく職業生活を送るために

② 働く女性と女性リーダーそれぞれの立場で以下テーマに沿ったグループワーク

働く女性：働きやすさのある職場にするために

働きがいのある職場にするために

女性リーダー：女性リーダーならではの悩み

次世代リーダーを育てるために

③ 働く女性と女性リーダー立場を超えたグループワーク

テーマ：働く女性と女性リーダーが互いに聞きたいこと、相談したいこと

6 参加者の主な意見

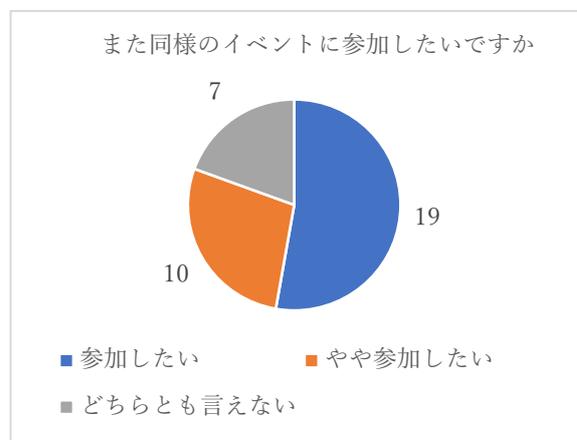
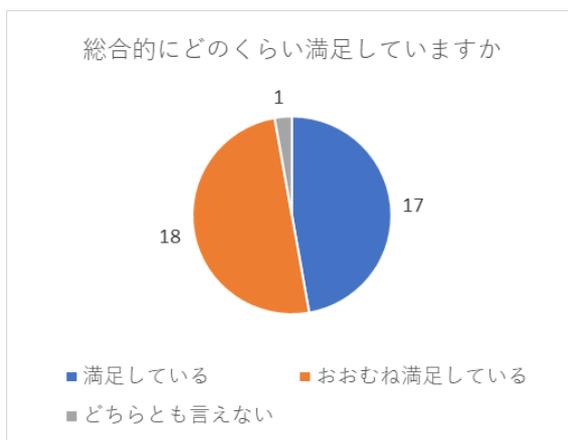
（1）参加した感想

- ・悩みや課題を共有することができ励まされ、後半は別の立場の方の考えも共有することができ、大変良かった。
- ・他社でリーダーとして活躍されている方の考え方を知り、新たな気づきを得た。
- ・ただ聞いている講義ではなく、参加者が考えを積極的に言い合うことが有意義だった。
- ・様々な職種の女性の意見を聞くことができ、前向きになれた。また、これからの自分の取り組み方を定めることができた。
- ・ディスカッションのテーマが少し限定的だったため、回答もみな似通ったものになった。例えば、「あなたにとって働くとは？」といった、もっと大きなテーマだと出てくる意見も幅広くなって、気づきを得られたような気がする。

(2) 「女性が、長野県で働き、暮らし続けたい」と思ってもらうために必要だと考えること

- ・働く環境の整備と多様化への対応。
- ・長野県で働き、暮らすこと、常に魅力を見出せる県であってほしい。
- ・リーダーの資質に性差はない。
- ・女性も活躍できると県民が認識すること。
- ・育児と仕事を両立できる制度が大切だと思う。体力的に両方100%は難しいため、短時間勤務や自由な働き方の制度が広がるといいと思う。また、それらの勤務体系でも、ある程度裁量があると働くやりがい生まれ、短い時間でも職場への良い貢献ができると考える。育児で本当に手がかかるのは、数年であるため今は働きが少なくても将来を見越して待っててくれる雰囲気が広がるといい。
- ・子育て、介護への支援があると働ける人は増えると思う。
- ・働ける場の環境改善と、一緒に働く人の意識改革が必要。そのためにも、県と企業がタッグを組んだイベントや研修会などしていただけると嬉しい。もちろん、中からの改善も頑張るが、外側からの働きかけも必要だと思う。
- ・「働きやすさ」には男女、年齢関係なく、コミュニケーションや風通しが重要だと感じた。
- ・企業の設備、働く環境の整備。
- ・こういった場に出た意見を各社に持ち帰り実践することで、「長野県の企業=働きやすい」となっていくこと。

7 参加者アンケート



8 当日の様子

